

令和4年稲沢市教育委員会 第3回定例会会議録

1 日 時 令和4年3月15日(火) 午後1時30分～2時10分

2 場 所 稲沢市役所 第1分庁舎 第2・3会議室

3 出席委員 教育長 広沢 憲治
教育長職務代理者 江本 弘子
委員 小川 仁美
委員 伊藤 浩樹
委員 吉川 繁樹

欠席委員 委員 城 義政

4 説明のため出席した職員

教育部長	荻須 正偉	庶務課長	大口 伸
庶務課統括主幹	森 義孝	庶務課主幹	大崎 敬介
学校教育課長兼指導主事	近藤 慎二	学校教育課統括主幹兼指導主事	松村 覚司
生涯学習課長	佐藤 雅之	スポーツ課長	内藤 邦将
図書館長	塚本 ゆかり	美術館長	尾崎 登紀子
書記 庶務課	稲山 美佳		

5 教育長報告

6 前回会議録の承認

令和4年第2回定例会会議録 承認

令和4年第2回臨時会会議録 承認

7 教育委員会報告

8 議事

議案第9号 令和4年度社会教育目標について

9 報告

- ・ 稲沢市教育委員会後援名義使用承認について
- ・ 令和4年度教育委員会定例会開催予定日
- ・ 学校医の解嘱及び委嘱について

10 その他

- ・ 荻須作品の寄託について

11 次回開催予定日時

－ 開 会 －

◎教育長

それでは、令和4年第3回教育委員会定例会を開会します。

◎教育長

初めに、教育長報告ということで私から2点お話をさせていただきます。

1点目は、議会に関してでございます。現在、令和4年3月議会が開催されています。先週、一般質問が終わりました。その一般質問の中で、教育委員会に対し、いろいろな質問がありました。その中で、いくつかお話しすると、職場におけるハラスメントについて、タブレットの活用について、子どもたちの体力、また不登校とコロナとの関係、学校運営協議会に関わること、キャリア教育に関わること、の質問が出されました。教育委員会の場でも話題にしていることが多いため、詳細については省略させていただきますが、現在議員の方あるいは市民がどんなことに興味を持っておられるか、関心を寄せているかが、この質問で分かるのかなと思っています。これから、令和4年度に向けていろいろな準備を進めている、学校も教育委員会もそういう状況だと思います。そんな中で、議会で話題になったことも含めて、留意しながら進めていかなければいけないと思っています。

2点目は、今の話と重なるところもありますが、タブレットの活用についてです。以前、予算のことについてお諮りしたときに、来年度、タブレットの自宅での活用に向けてWi-Fi環境が整っていない家庭に、Wi-Fiの設備を貸し出す予算を用意している、そんな説明をさせていただきました。まだ議会中ということで、最終決定はしていませんが、本日午前中に校長会議がございまして、今年度最後の校長会ということで、そういう予定をしていることを各学校に周知し、来年度に向けて準備を進めていただくようお願いをしました。私からの

報告は以上です。

◎教育長

続きまして、3. 前回会議録の承認について、前回の会議録を順次お返ししますので、お目通しをいただき署名をお願いいたします。

◎教育長

次に、4. 教育委員会報告について、教育部長からお願いします。

(定例会事項1ページの資料に基づき、教育部長から報告)

◎教育長

教育委員会報告で何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、それでは、5. 議事に入ります。別添の議案書に基づいて進めてまいります。

議案第9号「令和4年度社会教育目標について」を議題とします。生涯学習課から説明をお願いします。

●生涯学習課長

議案書2ページをご覧ください。(議案第9号を朗読)

3ページをお願いします。

初めに、生涯学習課では、急激な社会環境の変化の中で、市民みずから生涯を通じて学び、考え、身につけた知識や技能、人との繋がりを活用して課題解決に向けて実践する力を育むため、「誰もが学び、繋がり、つくりだす稲沢」を基本に、啓発事業や情報収集・提供方法の検討などにより、市民の学習活動の充実や学習環境の整備を図ると共に、本市の貴重な文化財を守り、次世代に引き継ぐための施策を展開します。

具体的な方策につきましては、生涯学習の推進として、各種講座の企画や情報提供、社会教育施設等の有効活用を通じ、市民の学習活動の支援を進めます。特に、コロナ禍から急速に進んでいる社会でのデジタル化に対し、デジタル格差対策に向けた学びを検討していきます。

次に、文化芸術の振興では、稲沢市文化振興財団、文化団体連合会との連携や文化グループ発表会の開催、文化振興奨励補助金による支援を行います。

次に、文化財保護では、市内の文化財の保存と活用、文化財愛護意識の高揚を図る講座の開催や文化財愛護少年団の育成を図ります。

青少年健全育成の推進では、青少年健全育成市民大会の開催や青少年問題協議会による関係機関等との連携強化に努めます。

続きまして、4ページをお願いします。スポーツ課では、スポーツを通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、市民の誰もが手軽に楽しめる生涯スポーツの振興に取り組んでまいります。また、スポーツ協会等の団体の活動の支援、施設の改修などスポーツの環境づくりを目指します。

具体的な方策につきましては、スポーツ推進委員活動の推進、スポーツ教室の開催などや(6)スポーツ振興基金の運営につきましては、豊田合成との包括連携協定を軸にトップアスリートとの交流事業に取り組んでまいります。また、2. 体育施設維持管理及び整備事業につきましては、市民の方が安心して使用できる身近なスポーツ施設として安全を第一に考えた施設整備に努めてまいります。

続きまして、5ページの図書館をお願いします。図書館は、図書館法に基づき、図書などを収集・整理・保存し、市民に生涯学習及び情報発信の拠点として利用していただけるように、図書館サービスの充実に努め、地域に開かれ、市民に親しまれる図書館づくりを目指します。

方策といたしまして、「図書館資料の充実」、「図書館サービスの充実」、「ボランティア団体との協働及び育成」に取り組めます。なお、「子ども読書活動の推進」では、計画の進行管理を中心に、目標値の達成に向けて、各施策に取り組めます。また、新たに「電子図書館の導入」を掲げ、令和4年7月の開設に向けて準備を進めるとともに、PRに努めます。

続きまして、6ページの美術館をお願いします。美術館では、稲沢市出身の洋画家荻須高德を顕彰するため、作品展示や調査研究を通して荻須の功績を紹介するとともに、年に一度、荻須に関する展覧会を開催し、市民に鑑賞機会を提供します。また、展示室等の貸し出しにより市民の文化芸術の振興に努めます。

主な方策としまして、3つ掲げており、1. 収集保存事業につきましては、荻須作品の寄贈・寄託を促進し、所蔵品の充実に努めたいと考えております。2. 展示・公開事業につきましては、特別展として「藤島武二 スケッチ百花一大川美術館コレクションと名品の彩りー」を開催します。日本洋画界を牽引した画家の一人であり、荻須画伯も東京美術学校でその教えを受けた、藤島武二について、群馬県桐生市の大川美術館が所蔵するスケッチなど100点と国内美術館が所蔵する油彩画を展示し、多彩な活躍を紹介するものです。3. 教育・普及事業につきましては、各種講座等を開催することにより、芸術文化の拠点としての役割を担ってまいります。

説明は以上です。

◎教育長

ただいま事務局から説明がありました。ご意見・ご質問はございませんか。

○伊藤委員

図書館について、第3次稲沢市子ども読書活動推進計画とは、どのようなものですか。

●図書館長

第3次稲沢市子ども読書活動推進計画につきましては、新生児から概ね18歳までの子どもの読書環境を充実させ、子どもの読書に関する施策を進めていく計画です。国、県ではそれぞれ第4次になっておりまして、これに追従する形で稲沢市におきましても、5年ごとの計画を進めており、現在第3次となっています。

○吉川委員

今、具体的な説明がありましたが、来年度に向けて今年度と変わった点、来年度重点的に取り組んでいきたい点、また、今まで外部評価委員会等が行われています。また、前回図書館の満足度調査について報告がありましたが、こういったことを踏まえて来年度に生かしていきたいと考えていることがありましたら教えてください。

●生涯学習課長

来年度、特に変わる点は、先ほど説明しましたデジタル化、DXに関することになります。コロナ禍以前は、スマホなどは通信機器としての道具でしたが、今ではコミュニケーションに欠かせないものになっています。このコミュニケーションがスマホを使ってできるように、高齢者又は初心者に向けて、デジタル決済が分からない方、またスマホで情報の取得ができない方に対し、高齢者教室及び特別に教室を増やし、デジタル格差をなくすようにしていきたいと考えています。

●スポーツ課長

スポーツ課では、計画的に施設の改修を行ってまいりました。平和町体育館を皮切りに、基本的には耐震補強工事がメインになっていましたが、平和町体育館、祖父江町体育館、祖父江の森、そして今総合体育館で実施しています。総合体育館も工事が終わり、4月1日から開放する予定です。これらの施設につきましては、耐震だけでなく床面の整備や、総合体育館では空調設備も整え、市民の方に十分活用していただけるように、いろいろな大会等、催していきたいと考えています。また、今回総合体育館も新しくなり、以前行っていたネーミングライツで豊田合成アリーナと命名していましたが、大規模改修のため、

一旦総合体育館に名称を戻しました。来年度4月から新たにネーミングライツの募集をし、12月から新しい名称でスタートできるように計画的に取り組んでまいります。また、多くの事業がコロナのためここ2年、中止になっています。特に大きな行事が中止になっています。また体育振興会等の各地の運動会も開催できない状況が続いていましたので、令和4年度は開催できるように工夫しながら進めてまいりたいと考えています。

●図書館長

図書館では、1.図書資料の充実から3.ボランティア団体との協働及び育成まで継続的に行っていますが、昨年度と比較した場合、これらにつきましては、外部評価の結果や利用者満足度調査のご意見の中にいろいろなご意見、ご指摘がありますので、これらを検討して進めてまいります。図書館事業の充実につきましては、例えば児童書では、その時々々のテーマとなるもの、昨年からSDGsに対する注目とニーズが高まっていますので、関連の資料の収集などを行っています。それから、子ども読書活動の推進につきましては、昨年事業所の具体的な取り組みの調査及び対象となる子どもの読書環境のアンケートを行い、その結果を受けて目標値に向けての施策に取り組む予定です。

なお、図書館として令和4年度の一番大きな事業となりますのが、電子図書館の導入です。こちらは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、公共図書館での導入が進んでいますが、実際には図書館に来ることができない方の読書環境の充実や、図書を利用し難い、例えば文字の大きなものしか読めない方や音声がないと読書が楽しめない方へのサービスの充実を目的としたものです。

●美術館長

美術館では、毎年荻須高德に関連する画家やテーマで特別展を開催し、展覧会を通して荻須を知っていただくということを、計画的に行っていきます。今年度の特別展では、約半数の方が美術館に初めて来館されたというアンケートの結果が出ました。そういう方にどうしたらリピーターになっていただけるかと考えているところで、情報発信、PRをしっかりとやっていきたいと考えています。荻須記念美術館で今こういうことをやっているということを皆さんに広く知っていただき、いつまでも心に留めていただけるように進めていきたいと考えています。

加えて、作品を観ていただく方が、こういう観点で見ると良いとかこういう見方があるということを学芸員が説明する機会を持つことで、より荻須作品に親しみを持っていただけたらと思っていますので、ギャラリートークの機会を増やしていきたいと考えています。

◎教育長

ほかに何かございますか。

○小川委員

先ほどスポーツ課からハード面を重点的にというお話を伺いましたが、コロナ禍において2年が経過し、その中でどの年代においても運動機能の低下が懸念されていると思いますが、そのことに対し何か新しい取り組みを考えてみえるのかということと、資料に、目的に応じた新しいスポーツの普及に努めるとありますが、具体的にどのようなものかということをお聞かせいただければと思います。

●スポーツ課長

具体的には、平和町体育館と祖父江町体育館では、総合型地域スポーツクラブを展開しておりまして、各種教室を平和町では25前後、祖父江町では40前後を開催しています。これは各年代、シニア層から若年層まで幅広い年代を対象にしています。また、祖父江の森温水プールでは、プールを利用した教室やテニスコートを利用した教室、多目的グラウンドを活用した教室等を展開しています。しかしながら、旧稲沢市においてはそれがございません。そこはスポーツ課が直接行っているスポーツ教室で、現在シニアフィットネス教室と健康ヨガ教室を開催しており、令和4年度も開催する予定です。ただ、旧稲沢市でも総合型地域スポーツクラブが令和6年度から展開できるように、準備を進めているところです。

また、新しいスポーツというのは、いわゆるニュースポーツを例えば稲沢まつりなど各種のおまつりにスポーツ推進委員の力をお借りしながら体験のブースを設けています。ただ、コロナ禍でおまつりも中止が多く、この2年ほどは思うようにできていないのですが、そういうところでニュースポーツの紹介をしたり、またチャレンジスポーツということで、毎年1回総合体育館でスポーツ推進委員の協力を得て、5種目くらい新しいスポーツを紹介する機会を設けています。

◎教育長

ほかに何かございますか。

●江本委員

先ほど図書館から、来年度一番力を入れることになる電子図書館のお話がありました。図書館に行きたくても行けない方や文字での理解が難しい方がたくさんおみえになると思います。こういう方たちが、お一人でも利用できると良いと思います。先ほどの説明でよくわからなかった点、どれくらいの規模なの

か、どんな様子なのか、7月スタートと聞いていますので、もう少し具体的に様子を教えていただけたらと思います。

●図書館長

電子図書館につきましては、令和4年7月の開設を目指して進めてまいります。初年度導入の図書の冊数を1,000冊として予算を計上しています。内容といたしましては、規模的に他の自治体、先行自治体の利用頻度の一番高い層は40代前後だそうですが、電子図書館としての目的は先ほど申し上げましたとおり、なかなか図書館に出向くことができない方にも読書の機会を持っていただくという目的がありますので、広くその辺のところは含んで対応してまいりたいと考えています。次年度以降は、人気やこちらの目的に合った書籍の内容を検討してまいりたいと考えています。児童生徒に向けても、ある程度電子図書の準備をしたいと思っておりますが、学校現場とのお話の中で、紙媒体の図書を第一に考えたいということもありまして、そちらとの共存を図りながら考えてまいりたいと思います。

●江本委員

市民向けにPRはされますよね。

●図書館長

開設が近くなりましたらPRを進めるとともに、開設してからは利用のための教室を開催したいと考えています。

◎教育長

ほかにございますか。

○吉川委員

今の電子図書館は素晴らしいことだと思っています。私自身も最近古い書物をどうやって手に入れたらよいかということで、国立国会図書館にアクションを起こしたら、デジタル図書で紹介されているということで、とても手に入れることができないものが、身近にスマホでも拡大して見られるということがわかりました。これはすごいことで、そういうことが進んでいくことは良いことだと思いますが、1点だけ、その中でデジタル化できない、いわゆる著作権の問題があって、これについてはどのようにしているか教えてください。

●図書館長

著作権の関係につきましては、現在発行されている書籍に関しては著作権の許可をいただいたもののみを電子書籍化ということがありますので、すでにある企業体から発行されているものは8万を超えています、それでもなお発行部数からみると割合的には低くなっていますが、その中からの選書となります。

デジタルコレクションに関しては、文化庁でも著作権について複写の規制緩和に乗り出しています。ただ、これにつきましても、大変細かいところでハードルがございますので、その点も考慮していかなければいけないと考えています。なお、デジタルコレクションに関しては、各自治体とも利用フリーの形で今閲覧することができますので、今後稲沢市でも考えていかなければいけない問題だと考えています。

○吉川委員

先ほどスポーツ課長からコロナ禍で2年くらいなかなか思うように行事ができないというお話がありました。これから、来年度ということではなくて、いわゆるコロナが終息した後どのように考えていくかということをお聞きします。一つはスポーツ課で、1.(6)にスポーツ振興事業としてトップアスリートとの交流事業の拡充を図っていきたくとあります。これは大変素晴らしいことで、もっと子どもたちに選手との触れ合いが行われると良いと思っていますので、今後コロナが終息した後、どのように考えていかれるのかをお聞きしたい。もう一つは、図書館の2.(2)職場体験学習の受け入れとありますが、これも中学生はコロナ禍であまりできていないと思いますが、コロナが終息した後こうした場所で活動するのもいい機会かなと思っています。それと合わせて同じく図書館で、歴史・文化財関係資料の整備ということが入っていますが、これからまた教育長が代わられて、ふるさと新発見学習がこれからも継続するかどうかということは別にして、子どもたちが学ぶ機会というのは図書館が大きなウェイトを占めていると思います。そういう意味で、歴史・文化財関係資料の整備、子どもたちが活用しやすいような形での整備の仕方を考えてみえるかどうか教えてください。

●スポーツ課長

トップアスリートとの交流事業につきましては、部活動への巡回指導は引き続き行っていきます。また、この2年開催できていませんが、ウルフドッグスのバレーボール選手のトークショー、こちらをリーフウォークで行っていきたくと考えています。また、ソニーのホッケー選手にホッケーの体験会ということで、小学生に対しての体験会を稲沢パルにあります稲沢フットサルスタジアムで行っていきたくと考えています。また、室内競技の市民大会の決勝戦の開催については、会場のスケジュールとの関係で調整はできていませんが、エントリオを活用した大会を開催したいと考えています。

●図書館長

1点目の職場体験学習の受け入れに関しましては、各中学校から職場体験学

習の申し入れがあり、それを受け入れる形で職場体験学習を受け入れています。職場体験学習は、昨年度と今年度は中止ということで実施できませんでしたが、それ以外に図書館独自で図書館の体験ということで小学生及び中学生を対象に実施しています。実際に職場体験学習が復活しましたら受け入れたいと考えています。

続きまして、歴史・文化財関係資料の収集に関しましては、現時点では稲沢市の中央図書館で、稲沢市に関する歴史・文化財関係資料の収集はまだ完全とは言えませんが、古書に関して収集に努めているところです。また、子どもたちがわかりやすく活用できる資料の存在につきましては、実際にそれらの資料が大変少ないというのが実情であることは承知していますが、なかなか新しく発刊されるという機会がございませんので、今のところレファレンスと言いついて読書相談の際に、できるだけかみ砕いて理解しやすいサービスに努めてまいります。

○吉川委員

1点だけ、要望ということでお願いします。先ほどスポーツ課長から説明がありましたエントリオ、豊田合成の記念体育館ですか、私まだ一度も足を踏み入れたことがないのですが、大変すばらしい施設だと思います。来年度は成人式もそこをお借りして開催するというので、ここのホームページを見てみたら、豊田合成の狙いは、まずクラブチームの公式戦を観に来ていただきたいということ。それから社内イベントを行うこと、三つ目に地域の方々との交流ということがありました。ここのところを大々的にスポーツ課との連携していただいて、あのフロアで子どもたちがプロの選手とやるとなったらすごく夢が膨らむと思います。また、小さな子どもたちに対するイベントもスポーツは楽しいなと感じられて夢があっていいと思っています。いろいろな場所でできるわけですが、そういう民間企業との提携、連携もやっていかれるといいかなと、そういうこともお願いできたらと思います。

◎教育長

ほかにございますか。

●江本委員

美術館で、小学校6年生の児童が地元の良さを知るといことも含めて、美術館の見学、萩須を知るといこともあると思いますが、ここ1、2年はコロナで難しいと思いますが、文面としては特に言葉は出ていませんが、事業として継続される、あるいはもう少し工夫されるということがありましたら教えてください。

●美術館長

鑑賞教育、郷土学習につきましては、例年市内の6年生の方全員を特別展期間中に招いています。来年度の特別展の期間中におきましても、来ていただくように日程調整を行っているところです。工夫と言いますか、まずコロナ対策ということで、なるべく少人数になるようにグループ分けをして、時間も少し短縮し、そういった感染対策をしたうえで実施していきたいと考えている点と、各校で事前学習をしてきていただけるような工夫と言いますか、資料作りをして、先生方に投げかけたいと考えているところです。

◎教育長

ほかにございますか。

◎教育長

ないようですので、それではお諮りします。議案第9号を承認としてよろしいでしょうか。

(委員さんから異議なしの声あり)

◎教育長

異議なしと認め、議案第9号は承認されました。

本日の議案は、1件のみですので、議事の審議は以上で終了いたします。

◎教育長

続きます、6. 報告事項に移ります。「稲沢市教育委員会後援名義使用承認について」及び「令和4年度教育委員会開催予定日について」、庶務課からお願いします。

●庶務課長

定例会事項の2ページをお願いします。2ページから5ページにかけて「稲沢市教育委員会後援名義使用承認一覧表」を掲載しております。ここに記載のとおり、13件の後援名義使用承認申請につきまして、稲沢市教育委員会後援名義の使用承認及び稲沢市教育委員会賞の交付に関する事務取扱要領に基づき、承認させていただきましたのでご報告いたします。

続きます、令和4年度教育委員会定例会開催予定日につきまして、6ページをお願いします。令和4年度教育委員会定例会を記載のとおり予定させていただきますので、よろしくをお願いします。また、併せて下の米印に記載しています、臨時会と総合教育会議につきましても予定させていただいています。ご出席いただきますよう、重ねてお願いします。

それぞれ開催日が近くなりましたら別途ご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。教育委員の皆様におかれましては、日程調整にご協

力いただき、ありがとうございました。

◎教育長

続いて、「学校医の解職及び委嘱について」を学校教育課から説明をお願いします。

●学校教育課長

7ページをお願いいたします。

稲沢市医師会及び稲沢市学校薬剤師会から変更願が提出されたことによりまして、学校医2名と学校薬剤師2名を解嘱し、新たに後任を委嘱するものでございます。なお、解職発令日は令和4年3月31日、委嘱発令日は令和4年4月1日となっております。

◎教育長

何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらお願いします。

◎教育長

ないようですので、続きまして、7.その他に移ります。

●美術館長

荻須作品の寄託について、口頭で説明申し上げます。

美術館では、今年度、油彩画6点を武田薬品工業株式会社様から、また油彩画1点を別の法人から寄託を受けました。うち2点は、1965年毎日新聞社主催で開催され、全国を巡回した展覧会に出品された荻須の代表作であり、見ごたえのある作品ばかりです。これらの作品は、3月29日、火曜日から常設展示室にて展示する予定です。ぜひご高覧ください。

◎教育長

何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、続きまして、次回の開催予定日時について教育部長からお願いします。

(教育部長から報告)

●教育部長

次回の教育委員会につきましては、4月15日、金曜日、午後1時30分から議員総会室で行います。

◎教育長

次回の開催予定日時でございました。委員の皆さんよろしくお願いします。

これをもちまして、第3回教育委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

次回開催予定日

令和4年4月15日（金）午後1時30分 議員総会室

－ 閉 会 －

令和4年4月15日

教 育 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

書 記